

■フランス：規制電気料金の5.9%値上げが6月1日に実施

2019年6月2日付の現地報道によると、同年6月1日、規制電気料金の5.9%（付加価値税込み、付加価値税抜きでは7.7%）値上げが実施された。この値上げにより、電気暖房を使用する家庭の電気料金は年間約85ユーロ値上がりし、約2,500万世帯が影響を受ける。エネルギー規制機関（CRE）のCarencu長官は、「国民の負担が大きいことは理解するが、電力の安定供給、品質、長期的に見た料金の均平化という3つの要素のために、今回の値上げは必要」としている。一方政府は、規制料金の算出方法の見直しを検討しており、6月下旬に実施予定の「エネルギー移行法」改正法案の審議の際に、新たな算出方法が提案される見込みである。なお、フランスの消費者団体であるCLCVおよびUFC-Que Choisirは、国務院（政府諮問機関と最高行政裁判所を兼ねた組織）に値上げの中止を訴える姿勢を見せている。